



2023年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月10日

上場会社名 グリーンランドリゾート株式会社
コード番号 9656 URL <https://www.greenland.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松野隆徳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室長 (氏名) 佐伯賢二

TEL 0968-66-2111

四半期報告書提出予定日 2023年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	1,299	32.6	145		152	672.3	134	909.4
2022年12月期第1四半期	979		0		19		13	

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 154百万円 (%) 2022年12月期第1四半期 10百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	12.99	
2022年12月期第1四半期	1.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第1四半期	19,471	9,470	48.6	916.09
2022年12月期	19,247	9,408	48.9	910.18

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 9,470百万円 2022年12月期 9,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		3.00		9.00	12.00
2023年12月期(予想)		5.00		7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	1.2	530	30.6	520	36.6	420	2.0	40.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	10,346,683 株	2022年12月期	10,346,683 株
期末自己株式数	2023年12月期1Q	9,260 株	2022年12月期	9,260 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	10,337,423 株	2022年12月期1Q	10,337,423 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想ご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響やウクライナ情勢の長期化、原材料やエネルギー価格の高騰等、先行き不透明な状況が続いているものの、行動制限の緩和や全国旅行支援事業の継続等により、料飲や宴会需要の増加も見られ、利用者数は回復傾向が継続しております。

この結果、特に遊園地セグメント及びホテルセグメントの利用者数が増加したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,299,299千円（前年同期比32.6%増）となり、営業利益は145,014千円（前年同期は営業損失969千円）、経常利益は152,308千円（前年同期比672.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は134,317千円（前年同期比909.4%増）となりました。

項 目	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期 連結累計期間 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
売上高	1,299,299	979,539	319,760	+32.6
営業利益又は営業損失(△)	145,014	△969	145,984	—
経常利益	152,308	19,720	132,587	+672.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,317	13,306	121,011	+909.4

報告セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

- ・遊園地セグメント

九州の遊園地は、前年はまん延防止等重点措置が適用された影響があったものの、本年は行動制限がなく全国旅行支援事業の継続もあり、利用者数が大幅に増加し、入園料やフリーパスの料金改定により客単価も増加しました。また、北海道のスキー場は、利用者数が増加し、リフト券の料金改定等により客単価も増加しました。この結果、当セグメントの売上高は前年同期比171,172千円増収（+42.9%）の569,832千円となりました。

- ・ゴルフセグメント

3ゴルフ場は、若い世代や個人グループでの利用客の増加が継続し、大型コンペや韓国からの利用客の回復傾向も見られたため、当セグメントの売上高は前年同期比13,237千円増収（+5.7%）の246,656千円となりました。

- ・ホテルセグメント

全国旅行支援事業による追い風もあり、九州のホテルでは宿泊部門が個人客及び修学旅行を中心に好調を維持し、北海道のホテルとともに料飲や宴会需要の回復傾向が見られたため、当セグメントの売上高は前年同期比154,657千円増収（+75.6%）の359,322千円となりました。

- ・不動産セグメント

不動産セグメントは、前年に一部テナントに係る土地賃貸借契約が終了したことにより賃貸収入が減少したため、売上高は前年同期比2,400千円減収（△5.6%）の40,574千円となりました。

- ・土木・建設資材セグメント

土木・建設資材セグメントは、ポゾテック製造量や一般土木工事の受注が減少したため、売上高は前年同期比16,908千円減収（△16.9%）の82,913千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産額合計は19,471,622千円（前連結会計年度末比224,490千円増加）となりました。

流動資産は、1,311,551千円（前連結会計年度末比163,620千円増加）となりました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金等が増加したことによるものであります。

固定資産は、18,160,070千円（前連結会計年度末比60,870千円増加）となりました。主な要因は、建物及び構築物、投資有価証券等が増加したことによるものであります。

流動負債は、6,137,360千円（前連結会計年度末比321,160千円増加）となりました。主な要因は、未払金、未払法人税等が減少したものの、営業未払金、短期借入金等が増加したことによるものであります。

固定負債は、3,864,223千円（前連結会計年度末比157,833千円減少）となりました。主な要因は、長期借入金、長期預り金等が減少したことによるものであります。

純資産は、9,470,038千円（前連結会計年度末比61,163千円増加）となりました。主な要因は、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び配当予想につきましては、2023年2月13日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績予想及び配当予想につきましては、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績等は今後の経済情勢の変化や事業運営におけるさまざまな状況変化によって、予想の数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	697,260	743,791
受取手形及び売掛金	309,590	386,393
商品	41,364	40,787
原材料及び貯蔵品	51,753	50,426
その他	50,961	93,328
貸倒引当金	△2,999	△3,176
流動資産合計	1,147,930	1,311,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,756,638	1,801,057
機械装置及び運搬具(純額)	436,227	426,630
土地	14,838,467	14,838,753
その他(純額)	115,791	129,311
有形固定資産合計	17,147,124	17,195,751
無形固定資産		
その他	203,104	205,747
無形固定資産合計	203,104	205,747
投資その他の資産		
投資有価証券	261,065	289,656
繰延税金資産	218,168	198,169
退職給付に係る資産	190,357	195,407
その他	80,180	75,837
貸倒引当金	△800	△500
投資その他の資産合計	748,971	758,570
固定資産合計	18,099,200	18,160,070
資産合計	19,247,131	19,471,622

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	96,741	95,032
営業未払金	151,698	348,448
短期借入金	4,664,660	5,055,093
未払金	449,447	314,282
未払法人税等	157,113	43,345
賞与引当金	—	31,985
その他	296,538	249,173
流動負債合計	5,816,199	6,137,360
固定負債		
長期借入金	1,537,256	1,382,289
長期預り金	2,349,222	2,333,222
退職給付に係る負債	11,350	10,570
その他	124,228	138,141
固定負債合計	4,022,056	3,864,223
負債合計	9,838,256	10,001,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	437,565	478,847
自己株式	△3,036	△3,036
株主資本合計	9,382,464	9,423,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,409	46,291
その他の包括利益累計額合計	26,409	46,291
純資産合計	9,408,874	9,470,038
負債純資産合計	19,247,131	19,471,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	979,539	1,299,299
売上原価	841,409	1,011,575
売上総利益	138,129	287,724
販売費及び一般管理費	139,098	142,709
営業利益又は営業損失(△)	△969	145,014
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	1,650	1,740
受取賃貸料	2,156	2,835
助成金収入	26,626	14,219
雑収入	2,469	967
営業外収益合計	32,904	19,763
営業外費用		
支払利息	10,175	8,877
雑損失	2,039	3,591
営業外費用合計	12,214	12,469
経常利益	19,720	152,308
特別利益		
固定資産売却益	—	2,965
固定資産交換差益	—	2,227
工事負担金等受入額	—	30,000
特別利益合計	—	35,193
特別損失		
固定資産除売却損	1,213	3,457
固定資産圧縮損	—	2,227
特別損失合計	1,213	5,684
税金等調整前四半期純利益	18,507	181,816
法人税、住民税及び事業税	8,244	29,342
法人税等調整額	△3,043	18,156
法人税等合計	5,200	47,499
四半期純利益	13,306	134,317
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,306	134,317

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	13,306	134,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,050	19,881
その他の包括利益合計	△3,050	19,881
四半期包括利益	10,255	154,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,255	154,199
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した内容から、重要な変更はありません。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	398,660	233,418	204,665	42,974	99,821	979,539	—	979,539
セグメント間の内部売上高 又は振替高	865	2,777	5,967	2,802	1,020	13,431	△13,431	—
計	399,525	236,195	210,632	45,776	100,841	992,970	△13,431	979,539
セグメント利益又は損失(△)	97,983	18,638	△93,902	29,308	29,251	81,278	△82,248	△969

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△82,307千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	569,832	246,656	359,322	40,574	82,913	1,299,299	—	1,299,299
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,026	2,822	4,877	2,802	452	12,980	△12,980	—
計	571,859	249,478	364,200	43,376	83,365	1,312,279	△12,980	1,299,299
セグメント利益又は損失(△)	171,300	16,623	△1,064	26,786	17,041	230,687	△85,672	145,014

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△85,889千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。